

動物のお医者さん リレートーク

皆さんにお馴染み! 芦屋市内で活躍されている獣医さんに毎回交代で執筆して頂くコーナーを新しく設けました。病気のこと、しつけのこと、困った患者さんのこと、日々感じておられること、飼い主さんをお願いしたいことなどなんでもOK! 自由に語って頂こうと思っています。

第一回は、芦屋市獣医師会会長(今年度まで)の飯盛先生です

シリーズ第一弾
飯盛先生

私の獣医師観 飯盛 真生

1990年10月1日に大学同級生の妻と県立芦屋高校の南、呉川町で動物病院を開業し、あの震災で損壊を受けた後現在の南宮町に根を降ろし早くも20年の歳月が過ぎようとしている。本当に色々な人との出会いがあり、また多くの方からの支えをいただいて今に至っている事に深謝しながら少し振り返ってみたいと思う。

元々獣医学とは動物医療を中心として人間社会と多様な接点を持つもので、獣医師の職域も小動物臨床及び産業動物の臨床、公衆衛生、バイオメディカル分野、さらに野生動物の保護から海外協力までと極めて多岐にわたるものである。そして私達小動物臨床を司る者の任務はどうだろうか。今やコンパニオンアニマル(伴侶動物)と呼ばれる犬と猫などの病気を治すことで、最終的には飼い主である人の心を幸せにすることとされる。牛や豚、鶏などの産業動物の獣医師が体の糧を守るものであるなら(今年は宮崎での口蹄疫発生の出来事もあり体の糧を守る仕事の重要性も再度認識されている)、小動物獣医師はまさに心の糧を守るものである。私もこの崇高な理念に少しでも近づけるように、犬猫の病気の予防と治せる病気に対する適切な愛情のある治療を実践することを第一に毎日頑張るのみである。

今回6回目のぎっくり腰を起してしまった。水泳・ウォーキング・体操など色々試してみたもののやはり長時間の立ち仕事が堪える。初めて自分の都合で半日休診してしまった。獣医師会・研究会・動物愛護など協力したい仕事もたくさんあるのではあるが、自分のペースでゆっくりと対処するしかないみたいだ。最大の理解者でパートナーである獣医師の妻と日々を大切にこの仕事を続けていきたい。

最後に 私の人生訓としている言葉を記します。皆様の幸せを願いつつ。

1. 今日開業した(初心を思い出せ)
2. 私は犬猫の治療に命をかけている(1と同じく大先輩の言葉)
3. ごまかさない(超有名な英語講師の言葉で自分への戒めとして)
4. つよく・やさしく!(母からの言葉)



飯盛動物病院

〒659-0024 兵庫県芦屋市南宮町12-24
TEL.0797-38-5554
駐車場あり
土曜午後・日曜・休日休診

診療時間

午前	9:00~12:00
午後	17:00~19:00



動物慰霊祭

動物慰霊祭が9月22日午前10時半から芦屋市霊園内の動物塚で行われました。当協会発足以来56年間、毎年動物愛護週間の行事として実施しているもので会員や愛犬を連れた一般市民ら約40人が参加。1年前に愛犬を亡くした方からは代表で慰霊の言葉を頂き参列者一人一人がそれぞれの思いを込めて献花。動物塚で眠る動物たちの冥福を祈りました。